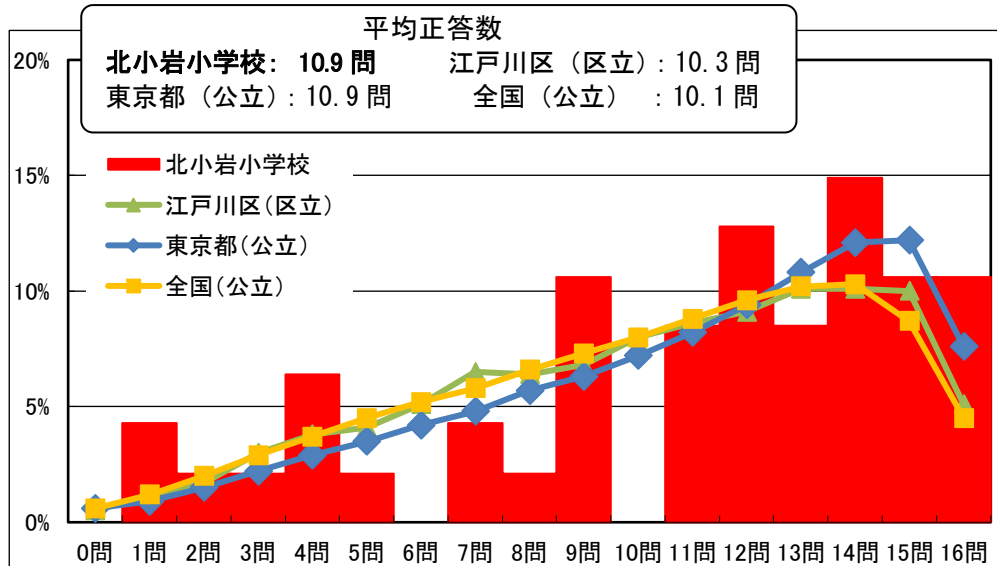


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】北小岩小学校

## 正答数分布



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
北小岩小学校	21.2	36.2	21.2	21.3
江戸川区(区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都(公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国(公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

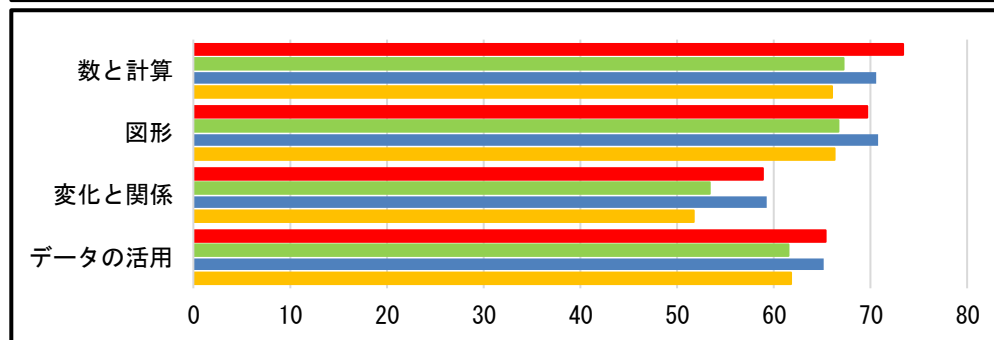
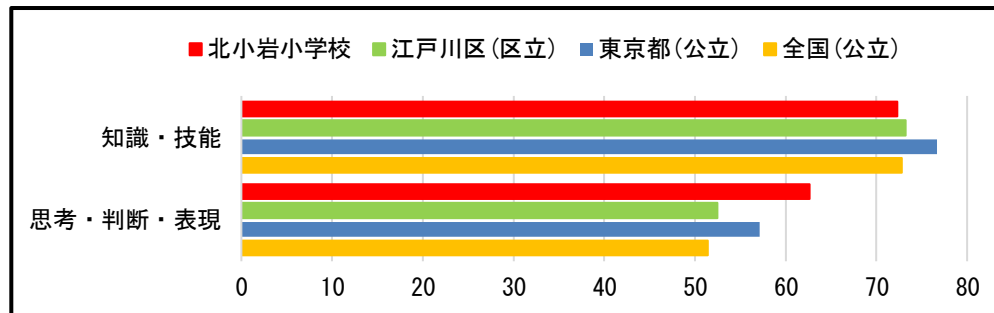
## 【平均正答率の差】

北小岩小学校	68%
江戸川区(区立)	64%
東京都(公立)	68%
全国(公立)	63.4%
都との差	0ポイント

%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



## 【分析結果と授業改善に向けて】

A層が都平均よりも10ポイント下回り、C層も5ポイント下回っている。一方、B層は区・都・全国比15ポイント上回っており、今後の重点ターゲットはB層を含むCD層であることが分かる。領域別に分析すると、「知識・技能」面が区及び都を下回っており、継続的に帯時間で実施するドリル学習を継続し、随時チェックテスト等で児童へフィードバックし動機付けを行うようにする。また、「変化と関係」のスコアが低いことから、比例関係や文字を使った式等の授業研究を進め、児童の関心意欲を高める工夫を進めていく必要がある。